

令和3年度 第3回岡山市総合教育会議

日 時：令和4年2月8日（火）

午後3時30分～

場 所：岡山市役所本庁舎3階 第3会議室

会 議 次 第

1 開 会

2 協議事項

- ・岡山市教育大綱がめざす子どもの育成に向けた取組状況等について
—5つの力（めざす子どもの姿に必要な力）を育むために—

3 閉 会

自らの個性を磨き、選択と挑戦を繰り返すことができる子どもをめざす

活用力

表現力

向上心

社会性

人権尊重の精神

4つの指標から

○自分の考えを整理して伝えることができる児童生徒の増加

全国学力・学習状況調査の記述式問題の正答率の対全国比（岡山市の正答率/全国の正答率）を1以上にする。

		R1	R3
小	岡山市	1.00	1.01
	全国		
中	岡山市	0.96	0.98
	全国		

・小・中学校ともにほぼ全国平均レベル

○情報を収集し、考えをまとめて発表している児童生徒の増加

探究的な学習をしていると感じる児童生徒の割合を全国平均レベル以上にする。

		R1	R3
小	岡山市	67.5%	71.5% (全国より低い)
	全国	65.7%	73.0%
中	岡山市	59.9%	73.0% (全国より高い)
	全国	61.5%	70.2%

資料: 全国学力・学習状況調査(文部科学省)

・特に中学校で探究的な学習が充実している。

○協力しようとする児童生徒の増加

協力して取り組んだことがうれしいと感じる児童生徒の割合を基準値（R1）から5ポイント以上上昇させる。

		R1	R3 (参考: 楽しいと感じる)
小	岡山市	89.5%	93.8%
	全国		
中	岡山市	83.9%	94.0%
	全国		

資料: 全国学力・学習状況調査(文部科学省)

・人と豊かに関わる学習の充実が、児童生徒の意識につながっている。

○人を大切にできる児童生徒の増加

人が困っているときに進んで助けると考える児童生徒の割合を基準値（R1）から5ポイント以上上昇させる。

		R1	R3
小	岡山市	86.6%	85.7%
	全国		
中	岡山市	84.6%	86.5%
	全国		

資料: 岡山市教育に関する総合調査

・特に、小学校では、気持ちはあるが行動につながっていないことや、自覚できていない可能性がある。

教育委員会と学校が一体となって取り組んだこと

- 授業改善に向けた指導助言
- ICTの効果的な活用についての教職員への研修・好事例の紹介
- 探究的な学習過程や児童生徒が議論し合う活動を取り入れた授業の充実
- 児童生徒へのアンケート等を通じた、教職員による児童生徒一人一人の思いや考えの理解と、集団や個への働きかけの充実
- 児童生徒が協力したり、互いの良さを実感したりできる学習活動の充実

さらに充実が必要な取組

- 児童生徒が自分の考えを表現したり、理由を説明したりする学習活動
- 情報活用能力の育成に向けた、1人1台端末を使った9年間の系統的な指導
- 育んだ心を児童生徒の実感につなげる取組

令和3年度第3回岡山市総合教育会議【中学校長会資料】

岡山市教育大綱がめざす子どもの育成に向けた中学校の取組状況等について

1 第2期岡山市教育大綱を踏まえた中学校長会の取組

- 教育大綱の捉え方をより深めるための研修会
- ICTを活用した各校の取組状況の共有 等

2 第2期岡山市教育大綱に向けた各校の取組

- 校長会での授業改善に向けた意思統一や各校での校内研修、ICTの活用が進む
→中学校全体で、生徒が議論し合う活動や探究する活動を取り入れた授業づくりが充実

【取組事例1】郷土理解学習

- ・朝の会の時間を活用し、生徒が興味や関心をもちやすい地元教材の提供
→「もっと学びたい」という気持ちを引き出し、向上心をもって主体的に学ぶ探究的な学びへつなげる
- ・ICTの効果的な活用
→集めた情報を、自分の追究課題の検証や提言等につなげる（活用力・表現力の育成）

【取組事例2】SDGsを通じた探究的な学び

- ・防災、環境保全、人権などの課題についてオンラインで外部人材と交流し、幅広く専門性の高い他者の考えや思いに触れる
→他者と関わりながら学ぶ（社会性の育成）
持続可能な社会づくりについて考え、実践する
（活用力・表現力・人権尊重の精神等の育成）

- 学校の実態を踏まえた独自の指標を設定し取り組む

3 来年度の重点として

- 総合的な学習の時間を中心に進められてきた探究的な学びによって育った力を、各教科等の学びに活かすための授業改善

令和3年度第3回岡山市総合教育会議【小学校長会資料】

岡山市教育大綱がめざす子どもの育成に向けた小学校の取組状況等について

1 小学校長会としての取組

- 校長研修：「大綱がめざす子ども」「育む5つの力」について
- 情報交換：「教育大綱の周知」「教育課程への反映」について

2 5つの力を育むことに向けた各小学校における取組の具体

- 教育大綱について教職員の理解を深め、教育課程における具体的な計画や指導の視点を共有
 - ・「生活科、総合的な学習の時間」における、5つの力を発揮した子どもの姿の共通理解
 - ・教科学習で身に付ける力と5つの力（特に、活用力・表現力）の関係に着目した、学習内容と5つの力の関連を意識した指導・取組
 - ・学校自己評価の評価項目と5つの力と関連させた、担当者からのボトムアップによる評価指標の設定
 - ・学校として身に付けさせたい5つの力のイメージの共有
 - ・「縦割り活動」として引き継がれてきた異学年が交流する活動の、5つの力を視点とした目的の明確化

3 今後の取組や課題について

- 効果的な指導方法、指導ツールの共有に向けての取組
 - ・探究的な学習の授業の構想
 - ・ICT活用（クロムブックの効果的活用）
- 人材育成、教員の力量向上
 - ・授業力
 - ・児童理解の力

自らの個性を磨き、選択と挑戦を繰り返すことができる子どもの育成

育む5つの力「活用力」「表現力」「向上心」「社会性」「人権尊重の精神」

【参考資料】
第2回
総合教育会議資料

現
状

■ 5つの力の基礎としての2つの目標

○全国学力・学習状況調査の偏差値50以上
(国語と算数・数学の平均値)

R3	小学校		中学校	
	国語	算数	国語	数学
偏差値	50	50	50	50

○新規不登校児童生徒(小・中合計)の
出現率0.47以下

	H30	R1	R2
出現率(市)	0.74	0.81	0.90
出現率(国)	0.84	0.93	1.03

(児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査)

■ 育む5つの力を測る指標

○全国学力・学習状況調査の記述式問題の正答率
の対全国比(岡山市の正答率/全国の正答率)
を1以上にする

	H30	R1	R3
小学校	1.00	1.00	1.01
中学校	0.95	0.96	0.98



◆ 岡山市の現状

- 全国平均レベル以上の学力が身につく、記述式問題の正答率は少しずつ上昇している。
- 新規不登校児童生徒の出現率は全国平均を下回っているものの年々高くなっている。
- 不登校の要因のうち学校に係る状況では、「友人関係」や「学業の不振」が多い。

成
果
・
課
題

★ 調査結果から明らかになった成果

児童生徒が議論し合う活動を取り入れた授業が増加した



学校の校内研修に指導主事が参加し、授業改善に向けた指導助言(R2から約200回実施)

児童生徒の「活用力」「表現力」が向上した

★ 調査結果から明らかになった課題

- 自分の考えを表現したり、理由を説明したりするための「活用力」「表現力」の育成が必要
- 不登校の未然防止として、より良い友人関係を築くための「社会性」「人権尊重の精神」の育成が必要

今
後
の
取
組

① 児童生徒が議論し合う活動の質の向上

- 「授業改善資料(授業これからは!)」の活用推進
▷授業の中で児童生徒につけたい力を明確化・具体化した指導

▶「活用力」「表現力」「向上心」の育成

② 個に応じた指導の推進

- 学力調査と質問紙調査の結果の活用推進(※学習指導と生徒指導の両面から児童生徒を理解)
▷個人・集団の特性の理解を踏まえた、より良い人間関係につながる指導
▷児童生徒一人一人の課題に応じた支援
▷いじめの芽や差別の根を見逃さない指導

▶「向上心」「社会性」「人権尊重の精神」の育成

「活用力」「表現力」「向上心」「社会性」「人権尊重の精神」の育成へ